

第2期広島市立大学塾活動報告【11月21日】

国際学部国際学科1年

長澤 駿平

今回の市大塾は、待ちに待った宿泊研修だ。普段の活動拠点である塾生室を飛び出して、大学の国際学生寮「さくら」で一泊の宿泊を行った。

塾生のほとんどがさくらに入るのが初めてだったため、何週間も前から非常に楽しみにしていた今回の宿泊研修。普段ならディスカッションが始まる午後6時に始まったのは、たこ焼きパーティーだ。塾のメンバーと一緒に食事をするのは今回が初めてである。皆でたこ焼きを楽しみながら、これまでの市大塾の活動を振り返りつつ、仕事に対する考え方などの意見交換を行った。（なお、青木塾長は後に行った、たこ焼き版ロシアンルーレットで見事“当たり”を引き当てた。）

夕食の後には、皆で映画鑑賞を行った。今回鑑賞したのは塩田副塾長の推薦で『初恋のきた道』（1999年公開）という中国の恋愛映画だ。とにかく映像が美しい映画で、シーンによってモノクロとカラーを使い分けるアイデアは素晴らしいと思った。

普段の活動では主に「リーダーシップ」をテーマにディスカッションを行っており、今回の塩田副塾長の推薦は少々意外なものだったが、いざ鑑賞してみると思いのほか考えさせられることが多かった。リーダーシップ同様、恋愛も考えれば考えるほどその本質がわからなくなるところがあり、一度議論する余地があると思った。他の塾生の感想を聞くのが非常に楽しみである。

今回の宿泊研修のように、普段の2時間弱の活動では話しきれないことを思う存分話し合える機会を設けるとするのは今後もっと必要になってくると思う。来年2月に控えている沖縄研修も今回同様に有意義なものにしていきたい。

【宿泊研修の様子】

